

平成22年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 平成22年5月7日報告分から22年7月19日までに報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤17件である。輸血用血液製剤の内訳は、
 - B型肝炎報告事例： 6
 - C型肝炎報告事例： 4
 - HIV感染報告事例： 0
 - その他の感染症報告事例： 7
- B型肝炎報告事例
 - 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）等が陽転した事例は6例（輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は0例）。
 - 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は2例。
 - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例（劇症化例含む。）である。
- C型肝炎報告事例
 - 輸血後に抗体検査（又はHCV-RNA）等が陽転した事例は3例（輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は1例）。
 - 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- HIV報告事例
 - 輸血前後に抗体検査等が陽転した事例は0例。
 - 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- その他感染症報告事例
 - B型肝炎及びC型肝炎以外の肝障害報告事例は1件。
 - 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例。輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。

日赤番号	血液製剤番号	FAX受付日	報告受付日	販売名(一般販売名)	献血者年齢	献血者性別	献血者居住国	献血者種別	献血月	献血前検査(年月)	献血後検査(年月)	日赤検査前検査	日赤検査後検査	献血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血	同一献血者製剤使用	同一献血者製剤使用	感染症等転帰	転帰	献血者及献血者の検査値	献血者発症及検査値		
輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)																											
供血者陽性事例																											
3-1001002004	A-1000004	2020/4/6	2020/4/6	新鮮凍結血小板(赤血球凍結血小板)	30	男	その他	09/06	09/06	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)	09/12	09/12	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)	09/06	09/06	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	09/06	09/06	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	HBV-DNA陽性輸血用血液(献血者)についての情報 同一献血者製剤:1本の赤血球凍結血小板-LRを製造し、医師検定後へ供給済み。全血量に原疾患死亡。 献血者再献血:当該献血者についてその後の献血は確認されていない。 当該以外の献血:可能な限り献血に含められ、保管検体の個別NATが陰性と判定されるまで全ての輸血用血液、原料血漿を調査する。	20単位 20単位 34単位	14/28(13人はHBV関連検査陰性。1人はHBsAb(+))であり当該献血時と同様であった。	16本の原料血漿、2本の新鮮凍結血小板-LR、赤血球凍結血小板-LRを製造。原料血漿は3本確認へ供給済み。	原料血漿3本は使用済み。新鮮凍結血小板-LR、赤血球凍結血小板-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未定	献血者のHBsAg陽性はGenotype Cであり、Subtypeはw/抗原決定基に選ばれたため判定できなかった。なお、患者検体と献血者(HBV陽性者)とのHBV塩基配列の相関性について、患者検体からHBV-DNAが陽性であったため断定できなかった。
3-1001003009	A-1000021	2020/6/8	2020/6/8	赤血球凍結血小板-LR(赤血球凍結血小板)	60	男	血液輸注	09/12	09/12	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+)	09/12	09/12	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	09/12	09/12	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	当該製剤3本で第1輸注を入手し、未完了輸注を行ったが、患者検体からの申し出により製剤番号が追加された。 *HBV-DNA陽性輸血用血液(献血者)についての情報 ①同一献血者製剤:1本の原料血漿を製造し、確保済み ②献血者の再献血:当該献血者その後の献血は確認されていない ③当該以前の献血:なし	2単位 10単位	2/9(HBV関連検査陰性)	9本の原料血漿を製造。全て確保済み。	重篤	未定	患者検体と献血者(HBV陽性者)とのHBV塩基配列の相関性について調査予定				

Table with columns for blood type, component, and date. Includes entries for HCV-RNA, HBV-DNA, and HBeAg. Rows are organized into sections for HCV-RNA, HBV-DNA, and HBeAg, with sub-sections for various blood components like plasma, platelets, and red blood cells.

Table with columns for blood type, component, and date. Includes entries for HCV-RNA, HBV-DNA, and HBeAg. Rows are organized into sections for HCV-RNA, HBV-DNA, and HBeAg, with sub-sections for various blood components like plasma, platelets, and red blood cells.

日券番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	販売名(一般受領名)	患者性別	患者年齢	感染疾患	原疾患名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	供用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症後の場合の供用者採血検査(NAT)(投与時点)	献血者発症後の場合の供用者採血検査(NAT)(投与時点)	
3-1000042	A-10000023	2010/6/24	2010/7/7	限制赤血球濃厚液-LR(人赤血球濃厚液(放射線照射))	女	70	血液腫瘍	C型肝炎	08/08 10/04 08/08 09/11		HCVコアE(-) 08/10 HCVコアE(-) 08/11 HCVコアE(+) 10/05	HCV-RNA(-) 08/08	HCV-RNA(+) 08/08	陰性(輸血前)	保管検体22本全部についてHCV-RNA(-)	日赤ポリグロビンN		30単位 70単位	13/22(HCV製剤確保)	18本の原料血液、4本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は7本確保済み、新鮮凍結血漿-LRは3本確保済み。	原料血漿は11本使用済み、新鮮凍結血漿-LRは2本使用済み。原料血漿-LRは11本確保済み。	重篤	不明			
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陰性																										
3-1000025	A-1000005	2010/4/1	2010/4/2	限制濃厚血小板(人血小板濃厚液(放射線照射))	男	30	血液腫瘍	C型肝炎	08/02 08/02 09/05 10/02 10/02 09/02 09/03 10/03		HCV-Ab(-) 09/03 HCV-Ab(-) 09/05 HCV-Ab(-) 09/12 HCV-RNA(-) 09/03 HCV-Ab(+) 10/04	HCV-RNA(-) 09/02 HCV-RNA(-) 09/03 HCV-RNA(-) 09/05 HCV-RNA(+) 09/07 HCV-RNA(+) 09/11 HCV-RNA(-) 09/12 HCV-RNA(-) 10/02 HCV-RNA(+) HCV-Ab(-) 10/04	陰性(輸血前)	保管検体119本(全部)HCV-RNA(-)	本症例は検査薬104本で第1種を入手したが、その後医師確認から申し出により検査薬15本が追加された。	10単位 785単位 105単位 34単位	74/119(HCV製剤確保)	108本の原料血液、11本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は64本確保済み、新鮮凍結血漿-LRは5本確保済み。	原料血漿44本は使用済み、新鮮凍結血漿-LRは6本は医師確認へ供給済み。	重篤	未回復					
輸血によるHIV感染報告例(疑い例を含む。)																										
(該当なし)																										

日券番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	販売名(一般受領名)	患者性別	患者年齢	感染疾患	原疾患名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	供用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症後の場合の供用者採血検査(NAT)(投与時点)	献血者発症後の場合の供用者採血検査(NAT)(投与時点)	
輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)																										
献血者陽性事例																										
3-1000006	A-1000006	2010/4/1	2010/4/2	限制赤血球濃厚液-LR(人赤血球濃厚液(放射線照射))	男	70	腎臓病	A型肝炎	10/02		HAV-RNA(-) 10/03	HAV-RNA(-) 10/02	IgM-HAV(-) IgG-HAV(+) 10/02	IgM-HAV-Ab(-) IgG-HAV-Ab(+) 10/04 HCV-RNA(+) IgM-HAV-Ab(-) IgG-HAV-Ab(+) 10/04 HCV-RNA(-) IgM-HAV-Ab(+) IgG-HAV-Ab(+) 10/05	陰性(輸血前)	保管検体1本についてHCV-RNA(-) IgM-HAV AN(-) IgG-HAV AN(+)	献血後には型肝炎を発症したとする献血者からの献血後情報に基づく調査に於いて判明した症例報告。	2単位	3本の原料血液を製造、確保済み。		非重篤	不明			献血者採血(HAV陽性採血検体)患者採血とCPT1-2B領域481bp (nL2920-3400)とS/C30領域590bp (nL5305-554102)塩基配列を比較したところ、2領域に於いてすべて一致した。献血者と患者のHAVウイルスはSubgenotype 1Aと判定した。	

日赤番号	識別番号	FAX 受付日	報告 受付日	販売名(一般名)	患者性別	年齢	原疾患	感染疾患	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	併用 血液製剤等	備考	使用 単位数	供血者再献血 剤確保※	同一供血者製 剤確保※	同一供血者製 剤使用※	感染 症等 転帰	転帰	供血者発 症及の場 合の供血 者検査値 (抗体、 NAT)(投 与時点)	供血者発 症及の場 合の供血 者の検査値				
	3-100-0028	A-1000-0008	2010/4/2	2010/5/10	照射赤血球濃厚液-LR(人赤血球濃厚液)(放射線照射)	男	70	その他の疾患	10/04	BT36.4℃ BP101/73	輸血開始約4時間後BT39.2℃ BP111/44 輸血開始約5時間後BT39.0℃ 輸血開始約8時間後BT40.4℃ 輸血開始約8時間後BT40.1/41 翌日BT37.4℃ BP103/44 院内にて実施の患者血液培養は陰性 BacTec/serusを測定	輸血開始約4時間後BT39.2℃ 輸血開始約5時間後BT39.0℃ 輸血開始約8時間後BT40.4℃ 輸血開始約8時間後BT40.1/41 翌日BT37.4℃ BP103/44 院内にて実施の患者血液培養は陰性 BacTec/serusを測定	日赤投与前検査	日赤投与後検査					被疑者: 採血13日目の照射赤血球濃厚液-LR	2単位	1本の新鮮凍結血漿-LRを製造し確保済み。				重篤	回復			
	3-100-0030	A-1000-0010	2010/4/3	2010/5/3	新鮮凍結血漿-LR(放射線滅菌人血漿)	男	60	その他の疾患	10/03	IgM-HSV(-) IgG-HSV(-)	IgM-HSV(-) IgG-HSV(-)	検査項目8本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(-) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(+) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV	検査項目8本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(-) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(+) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV	検査項目8本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(-) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(+) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV	検査項目8本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(-) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV Ab(-) IgG-HSV Ab(+) 検査項目1本H SV-DNA (-) IgM-HSV					輸血と感染症の因果関係はないと考へ、と担当医の発病が明らか。	20単位	17本の赤血球濃厚液-LRを製造。	全て医療機関へ供給済み。			重篤	未回復		
	3-100-0032	A-1000-0012	2010/5/3	2010/5/3	照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液)(放射線照射)	女	60	血液疾患	10/05	輸血当日朝BT37.1℃ その後36℃台	輸血終了約15分後BT37.4℃ 翌日BT37.3℃ 翌々日BT37.3℃ その後の発熱を繰り返す。 院内にて実施の患者血液培養は陰性 Staphylococcus epidermidisを検出	輸血終了約15分後BT37.4℃ 翌日BT37.3℃ 翌々日BT37.3℃ その後の発熱を繰り返す。 院内にて実施の患者血液培養は陰性 Staphylococcus epidermidisを検出	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし					被疑者: 採血3日目の照射濃厚血小板	10単位	1本の原料血漿を製造、確保済み。			重篤	回復				

日赤番号	識別番号	FAX 受付日	報告 受付日	販売名(一般名)	患者性別	年齢	原疾患	感染疾患	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	併用 血液製剤等	備考	使用 単位数	供血者再献血 剤確保※	同一供血者製 剤確保※	同一供血者製 剤使用※	感染 症等 転帰	転帰	供血者発 症及の場 合の供血 者検査値 (抗体、 NAT)(投 与時点)	供血者発 症及の場 合の供血 者の検査値		
	3-100-0033	A-1000-0013	2010/5/2	2010/6/4	照射赤血球濃厚液-LR(人赤血球濃厚液)(放射線照射)	女	50	その他の疾患	10/05	BT37.4℃	輸血終了約3.5時間後BT39℃ 翌日BT39.7℃まで上昇。 20:00 BT38.3℃ 翌々日BT37.3℃ その後の発熱を繰り返す。 院内にて実施の患者血液培養は陰性 M-RSA検出	輸血終了約3.5時間後BT39℃ 翌日BT39.7℃まで上昇。 20:00 BT38.3℃ 翌々日BT37.3℃ その後の発熱を繰り返す。 院内にて実施の患者血液培養は陰性 M-RSA検出	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし					被疑者: 採血13日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本)	2単位	1本の原料血漿を製造確保済み。			重篤	未回復		
	3-100-0035	A-1000-0015	2010/5/2	2010/6/8	赤血球濃厚液-LR(人赤血球濃厚液)	男	70	血液疾患	10/05		輸血後シバクあり。その後BT37.0℃台の発熱 院内にて実施の患者血液培養は陰性	輸血後シバクあり。その後BT37.0℃台の発熱 院内にて実施の患者血液培養は陰性	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし					被疑者: 採血3日目の血球濃厚液-LR(1本)	2単位	1本の新鮮凍結血漿-LRを製造、確保済み。			重篤	回復		
	3-100-0037	A-1000-0017	2010/5/2	2010/6/10	照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液)(放射線照射)	女	60	血液疾患	10/05		輸血開始時BT37.7℃ 輸血(時間)BT37.8℃ 輸血開始約2時間後BT37.8℃ 輸血開始約4時間後BT38.8℃ 翌日BT36.7℃	輸血開始時BT37.7℃ 輸血(時間)BT37.8℃ 輸血開始約2時間後BT37.8℃ 輸血開始約4時間後BT38.8℃ 翌日BT36.7℃	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし	検査中止の当該製剤(1本)で細菌培養試験実施。陰性。 非溶血性製作用関連検査実施。 抗血栓タンパク質検査: 陰性 血尿タンパク質検査: 欠損なし					被疑者: 採血3日目の照射濃厚血小板-LR(1本)	10単位	1本の原料血漿を製造、確保済み。			重篤	軽快		

別紙

日本赤十字社

試行的 HEV20 プール NAT 実施状況について
(輸血後 HEV 感染の予防対策)

1. 試行的 HEV20 プール NAT 実施状況

北海道赤十字血液センター管内

調査期間:平成17年1月1日～平成22年6月30日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17.1～H18.2*1	341,174	45	1/7,582
H18.3～H22.6*2	1,171,072	134	1/8,739
合計	1,512,246	179	1/8,448

*1 北海道センターにて NAT 実施(ALT 高値、検査不合格検体も含む)

*2 血漿分画センターにて NAT 実施(ALT 高値、検査不合格検体は除く)

2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳
別添

別添
調査期間:2005年1月1日～2010年6月30日

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	陽性率 %1	病の種類	検査歴調査	献血者情報		献血者情報
					IgM	IgG					食べ方	施設別	
1	2005/01/04	32	M	57	-	-	+	無	不明レバー	ウシ精肉	生	無	
2	2005/02/07	38	F	11	-	-	+	無	ブタレバー	ウシ精肉	生	無	
3	2005/02/13	41	M	103	-	-	+	無	回答なし	ウシ精肉	生	無	
4	2005/03/25	65	F	17	-	-	+	無	回答なし	ウシ精肉	生	無	
5	2005/03/27	26	M	38	-	-	+	有	不明レバー(同診時)	ウシ精肉	生	有	赤血球製剤破損のため院内廃棄
6	2005/04/10	54	F	20	-	-	+	無	ウシ精肉	ウシ精肉	半生	無	
7	2005/04/15	59	F	16	-	-	+	無	ウシ精肉	ウシ精肉、シカ精肉	十分加熱	無	
8	2005/04/15	35	F	16	-	-	+	無	ウシ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
9	2005/04/20	25	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ウシ精肉	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
10	2005/04/28	22	M	44	-	-	+	無	回答なし	ウシ精肉	十分加熱	有	感染なし
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉、ヒツジ精肉	半生	有	原疾患により死亡
12	2005/06/22	51	M	52	-	-	+	無	回答なし	ウシ精肉	十分加熱	無	
13	2005/07/03	58	M	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	ウシ精肉	十分加熱	無	
14	2005/07/05	22	M	23	+	+	+	無	回答なし	ウシ精肉	半生	無	
15	2005/07/05	38	M	15	-	-	+	無	ウシ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉、ブタ精肉	生	有	原疾患により死亡
16	2005/07/13	24	M	19	-	-	+	無	ウシレバー	ウシ精肉	生	有	原疾患により死亡
17	2005/09/02	33	M	49	-	-	+	無	ウシ精肉	ウシ精肉	生	無	
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ウシ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉、ウシ精肉	半生	無	
19	2005/09/20	42	M	31	-	-	+	無	ウシ精肉、ウシ精肉、ブタ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉、ウシ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H17.11.1) 運営委員会報告済み
20	2005/09/27	20	F	10	-	-	+	無	ウシ精肉、ウシ精肉、ヒツジ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
21	2005/10/21	41	M	12	-	-	+	無	回答なし	ウシ精肉	十分加熱	無	
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
23	2005/11/07	30	F	21	-	-	+	無	ウシ精肉、ウシ精肉、ヒツジ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉、ヒツジ精肉	半生	無	
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ウシ精肉、ウシ精肉、ブタ精肉	ウシ精肉、ウシ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
25	2005/11/20	28	M	47	+	+	+	有	ウシレバー、ウマ精肉	ウシレバー、ウマ精肉	生	無	
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	回答なし	ウシ精肉、ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
27	2005/12/13	42	M	30	-	-	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉	ウシ精肉、ヒツジ精肉	半生	有	原疾患により死亡
28	2005/12/13	30	M	11	-	-	+	有	不明レバー、ブタ精肉	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H18.01.26 運営委員会報告済み)
29	2005/12/22	62	F	14	-	-	+	無	回答なし	ウシ精肉	十分加熱	無	
30	2005/12/27	42	F	14	-	-	+	無	回答なし	ウシ精肉	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		避及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	-	-	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	M	23	-	-	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	M	42	-	-	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉	生 半生	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	-	-	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	-	-	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	-	-	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	-	-	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー ウシレバー	生 半生	無	
41	2006/02/07	57	M	13	-	-	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	-	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	-	-	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	-	-	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	-	-	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	-	-	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	-	-	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	-	+	無	ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	-	-	+	無	ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+	無	ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	26	-	-	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+	無	回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	-	-	+	無	ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	-	-	+	無	ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	-	-	+	無	回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	-	-	+	無	回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	-	-	+	無	回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		避及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
61	2006/08/01	62	M	18	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	M	15	-	-	+	無	ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22	-	-	+	無	不明		無	
65	2006/11/19	48	M	58	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	M	18	-	-	+	無	回答なし		無	
67	2006/12/01	43	M	55	-	+	+	無	ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	M	46	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	M	40	+	+	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	M	41	-	-	+	無	ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	M	32	-	+	+	無	ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	M	30	-	-	+	無	不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	-	-	+	無	ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生 十分加熱	無	
74	2007/05/16	47	F	15	-	-	+	無	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+	無	ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	M	26	-	+	+	無	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
77	2007/06/22	38	M	20	-	-	+	無	ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
78	2007/06/25	45	M	37	+	+	+	無	ブタ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
79	2007/06/27	37	M	18	-	-	+	無	ブタ精肉	十分加熱	無	
80	2007/07/24	57	M	24	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
81	2007/07/29	37	M	48	-	-	+	無	不明レバー、ブタホルモン 不明レバー、ブタホルモン	十分加熱 半生	無	
82	2007/07/31	48	M	30	-	-	+	無	ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
83	2007/08/01	48	M	33	-	-	+	無	ブタ精肉 ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
84	2007/08/04	53	M	28	-	-	+	無	ヒツジ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
85	2007/08/26	50	M	60	-	-	+	無	ヒツジ精肉 ウシ精肉	十分加熱 生	無	
86	2007/09/05	41	M	29	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
87	2007/09/18	41	M	23	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ウシホルモン、ブタホルモン	半生	無	
88	2007/09/21	57	M	19	-	-	+	無	ブタホルモン	十分加熱	無	
89	2007/10/03	59	M	39	-	-	+	無	ブタレバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
90	2007/10/03	19	M	40	-	-	+	無	喫食歴なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		遊及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	-	-	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	-	-	+	△	不明		無	
94	2007/11/16	54	M	22	-	+	+	△	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/16	45	M	47	-	-	+	△	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	-	-	+	△	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	46	-	-	+	△	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	-	-	+	△	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	-	+	+	△	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	△	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	36	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	△	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	-	-	+	△	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	△	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	-	-	+	△	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	-	-	+	△	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	60	M	37	+	+	+	△	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	-	-	+	△	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	26	-	-	+	△	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	△	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	26	-	-	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	-	-	+	△	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	-	-	+	△	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	-	-	+	△	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	-	-	+	△	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	46	-	-	+	△	ブタホルモン	十分加熱	無	
117	2008/06/04	43	M	38	+	+	+	△	ウシレバー ウシホルモン、ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	生 十分加熱	無	
118	2008/06/07	42	M	11	-	-	+	△	ウシレバー ブタ精肉	生 十分加熱	無	
119	2008/06/23	48	M	17	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生	無	
120	2008/07/10	39	M	32	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉 ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		遊及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
121	2008/07/11	39	M	28	-	-	+	△	不明		無	
122	2008/07/26	34	M	35	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
123	2008/07/27	36	M	45	-	-	+	△	不明		無	
124	2008/07/30	24	M	10	-	-	+	△	不明		無	
125	2008/08/20	19	M	17	+	-	+	△	不明		無	
126	2008/09/03	30	M	28	-	-	+	△	不明		無	
127	2008/09/08	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
128	2008/09/09	23	F	24	-	-	+	△	ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
129	2008/09/16	33	F	18	+	+	+	△	不明		無	
130	2008/09/16	58	M	21	-	-	+	△	不明		無	
131	2008/09/17	62	M	37	-	-	+	△	ウシレバー、ブタレバー	十分加熱	無	
132	2008/09/23	42	M	36	-	-	+	△	ブタ精肉、ブタレバー	十分加熱	無	
133	2008/09/25	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
134	2008/09/27	30	M	22	-	-	+	△	不明		無	
135	2008/10/10	50	M	31	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	不明	無	
136	2008/10/11	39	F	15	-	-	+	△	ウマ精肉	生	無	
137	2008/10/14	56	M	13	-	-	+	△	不明レバー	生	無	
138	2008/10/18	38	F	23	-	-	+	△	不明		無	
139	2008/11/03	37	M	22	-	-	+	△	ウシホルモン、ブタ精肉	半生	無	
140	2008/11/11	41	F	11	-	-	+	△	不明		無	
141	2008/12/05	52	M	18	-	-	+	△	ブタレバー	十分加熱	無	
142	2008/12/20	47	M	22	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
143	2009/01/13	50	M	27	-	-	+	△	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)	十分加熱	無	
144	2009/01/27	55	M	17	-	-	+	△	不明		無	
145	2009/02/11	37	M	28	-	-	+	△	不明ホルモン	十分加熱	無	
146	2009/02/16	59	F	23	-	-	+	△	ブタレバー	不明	無	
147	2009/02/23	20	F	42	-	+	+	△	ウシ、ブタ精肉	半生	無	
148	2009/03/11	29	M	49	-	-	+	△	ブタレバー、ホルモン	十分加熱	無	
149	2009/04/16	35	F	29	-	-	+	△	ウシレバー ウシ・ブタホルモン	生 半生	無	
150	2009/04/24	36	F	42	-	-	+	△	不明ホルモン	不明	無	

日本赤十字社血液事業本部 御中

薬事・食品衛生審議会血液事業部会事務局
厚生労働省医薬食品局血液対策課

血液製剤に関する報告事項について

血液事業の推進に御努力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、標記につきましては、平成22年4月23日付け血安第154号にて貴社から報告を頂いたところですが、平成22年8月11日(水)に平成22年度第2回血液事業部会運営委員会が開催されますので、下記の事項について資料を作成いただき、平成22年7月26日(月)までに当事務局あて御提出いただきますようお願いいたします。記の12については、平成22年5月18日開催平成22年度第1回血液事業部会運営委員会提出資料を更新のうえ、再度御提出ください。
なお、資料の作成に当たっては、供血者、患者及び医療機関の名称並びにこれらの所在地又はこれらの事項が特定できる情報を記載しないよう、個人情報及び法人情報の保護に特段の御配慮をお願いします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る7人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

No.	採血日	年齢	性別	ALT (U/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	肉の種類	検査歴調査		遊及対象 氏名要約	受血者情報
					IgM	IgG				検査方法	検査結果		
151	2009/04/27	45	M	50	-	-	+	+	不明	生	無	無	
152	2009/06/04	65	F	24	-	-	+	+	不明ホルモン	不明	無	無	
153	2009/06/09	63	M	26	-	-	+	+	シカ猪肉	十分加熱	無	無	
154	2009/07/01	47	M	40	+	+	+	+	ウシ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	無	
155	2009/07/23	26	F	11	-	-	+	+	ウシ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	無	
156	2009/08/01	40	M	29	-	-	+	+	ウシ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	無	
157	2009/08/14	41	M	14	-	-	+	+	不明	生	無	無	
158	2009/09/04	43	M	45	-	-	+	+	ウマ精肉	生	無	無	
159	2009/09/09	54	F	14	-	-	+	+	ウシレバー	半生	無	無	
160	2009/09/09	51	M	19	-	-	+	+	ブタ精肉	十分加熱	無	無	
161	2009/10/12	27	M	41	-	-	+	+	不明	十分加熱	無	無	
162	2009/10/27	52	M	29	-	-	+	+	ブタ精肉、ブタレバー	十分加熱	無	無	
163	2009/11/17	53	M	19	-	-	+	+	ウシ・ブタ精肉、ウシレバー	半生	無	無	
164	2009/11/28	28	M	29	-	-	+	+	不明	生	無	無	
165	2009/12/13	37	M	35	-	-	+	+	ウシレバー	生	無	無	
166	2009/12/17	37	M	15	-	-	+	+	ウシ精肉、ブタレバー、ウシ・ブタホルモン	十分加熱	無	無	
167	2009/12/24	64	M	40	-	-	+	+	ヒツジ精肉	不明	無	無	
168	2009/12/28	34	F	18	-	-	+	+	不明	生	無	無	
169	2010/01/17	41	M	25	-	-	+	+	ウシレバー	生	無	無	
170	2010/01/19	34	M	36	-	-	+	+	ブタホルモン	十分加熱	無	無	
171	2010/01/21	39	M	24	-	-	+	+	ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	無	
172	2010/02/26	26	F	15	-	-	+	+	ウシ精肉	十分加熱	無	無	
173	2010/03/04	50	M	21	-	-	+	+	シカ猪肉	十分加熱	無	無	
174	2010/03/17	47	M	18	-	-	+	+	ブタ精肉	半生	無	無	
175	2010/03/17	26	M	11	-	-	+	+	不明	十分加熱	無	無	
176	2010/03/26	60	M	38	-	-	+	+	ブタ精肉	十分加熱	無	無	
177	2010/04/17	54	M	37	-	-	+	+	ウシレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	無	
178	2010/05/19	36	F	14	-	-	+	+	不明ホルモン	十分加熱	無	無	
179	2010/06/19	35	M	31	-	-	+	+	不明ホルモン	十分加熱	無	無	

※1 問診等調査内容
09年11月1日～09年12月31日：(過去3ヶ月以内に)生肉(牛・豚・鶏)の喫食歴、(過去3ヶ月以内に)生肉(牛・豚・鶏)の喫食歴、(過去3ヶ月以内に)生肉(牛・豚・鶏)の喫食歴、(過去3ヶ月以内に)生肉(牛・豚・鶏)の喫食歴、(過去3ヶ月以内に)生肉(牛・豚・鶏)の喫食歴

査結果。来訪がなければ、その旨。

5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
10. 平成21年11月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
11. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
12. 試行的HEV20プールNATについて、その後の調査実施状況。

血安第257号
平成22年7月26日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社
血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について（回答）

平成22年7月21日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記のとおり資料を作成しましたので報告いたします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人のその後の来訪なし。（8名中6名が来所、検査は全て陰性）
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人のその後の来訪なし。（37名中32名が来所、検査は全て陰性）
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る7人のその後の来訪なし。（48名中41名が来所、検査は全て陰性）
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人のその後の来訪なし。（16名中12名が来所、検査は全て陰性）
5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（追跡調査対象の4名中3名が来所、HBV-DNAは全て陰性。1名はHBc抗体がEIA法のみ陽性HI法陰性、その他の者は全て陰性）

6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、1人がその後献血に協力頂き、検査は陰性。残る3人の来訪なし。（20名中17名が来所、検査は全て陰性）
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、1人がその後献血に協力頂き、検査は陰性。残る8人のその後の来訪なし。（53名中45名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（29名中28名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（3名中2名が来所、検査は全て陰性）
10. 平成21年11月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人のその後の来訪なし。（23名中20名が来所、検査は全て陰性）
11. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人のその後の来訪なし。（81名中78名が来所、検査は全て陰性）
12. 試行的HEV20プールNATについて、その後の調査実施状況については別紙のとおり。

